



郷愁を誘う秋の海岸寺。物言わぬ石仏は、静かに佇んでいた。

北杜市清里を目指し旧・佐久往還道を進むと、津金山の中腹に臨済宗の名刹「海岸寺」がある。ここからは、南アルプスをはじめ甲斐の名峰を眺望できる。

「海岸寺」の魅力は、やはり高遠の名工・守屋貞治らが彫り残した百数十体の石仏群と四季折々を彩る自然。山々が紅葉に染まるころは、境内も一面のイチョウで埋め尽くされる。この日も風に吹かれたイチョウに埋もれながら物言わぬ石仏は、静かに佇んでいた。多くの文人墨客が訪れた「海岸寺」で秋の一日を過ごしてみたいだろうか。